

# マイナ保険証トラブル噴出

マイナンバーカード保険証に関するトラブルが止まりません。医療機関でのオンライン資格確認をめぐり、茨城、東京、福岡などの都府県の保険医協会・医会が緊急に実施した会員調査で、「明らかに有効な保険証が『無効』と返信される」などのトラブルが、24日までに81件報告されました。

## 保団連発表

9都府県調査

トラブルの種類（複数回答）では、「資格情報が無効と表示された」35%、「オンライン資格確認にトラブルあり」52%、「オンライン資格確認システムに障害がある」29%、「トラブルなし」29%、「その他」19%でした。

全国保険医団体連合会（保団連）は、システムについていない16%など。

千葉県保険医協会は、導入した医療機関の約8

## 医療機関 常態化が半数以上

回答では、「資格情報が無効と表示された」35%、「オンライン資格確認システムに障害がある」29%、「トラブルあり」52%、「オンライン資格確認システムに障害がある」29%、「トラブルなし」29%、「その他」19%でした。

保団連は声明で「予々更新遅れなどの人的ミスやシステムの問題でトラブルが多発している」と述べた。同会は、一連のトラブルが、調査結果は氷山の一角だ。マイナ保険証の利用が増えるにつれて事態がさらに悪化することはない、「制度関連法案について、徹底審議のうえ廃案

割が「困難事例」を経験しました。茨城県保険医協会は、システム運用中の医療機関のうち58%がトラブルを確認。東京歯科協会はシステム導入後に「トラブルがありった」と回答。なかには「いったんは『無保険扱い』となり、10割負担を保険証変更後1年以上経過していたのに『無効』と表示される例もありました。

またトラブルが起きた場合、現在は持参している保険証の記載事項を優先して確認する運用が認められています。それが保険証廃止となれば、間で深刻なトラブルとなる、全国の医療機関で診療が停滞・中断する事態が発展しかねない」(同前)と危べを表明しています。

保団連は声明で「予々更新遅れなどの人的ミスやシステムの問題でトラブルが多発している」と述べた。同会は、一連のトラブルが、調査結果は氷山の一角だ。マイナ保険証の利用が増えるにつれて事態がさらに悪化することはない、「制度関連法案について、徹底審議のうえ廃案